

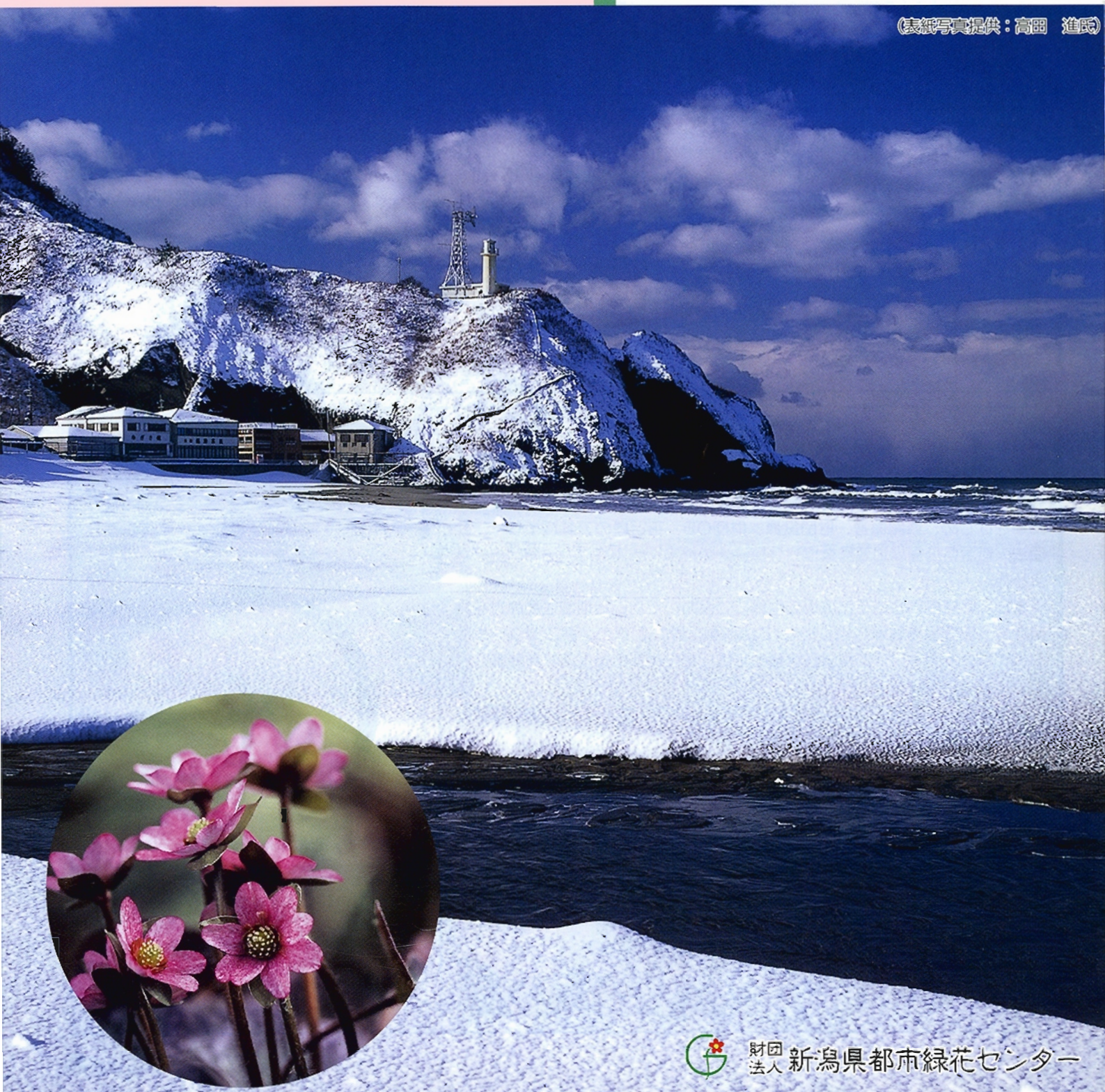
Green Sketch

グリーンスケッチ

No. 10
WINTER 2001

- 緑花センター設立10周年
- 見聞記「マロニエとちぎ緑化祭2000」
～秋の花咲く栃木を訪ねて～
- 植物に親しむ
～食欲増進・健康回復に役立つおいしい梅～
- 公園紹介 ～新潟県の木「ユキツバキ」の魅力～
- 花と緑のイベント情報
- 緑の愛護団体紹介

(表紙写真提供：高田 進氏)



オオミスミソウ (巻町角田山麓)



財団法人 新潟県都市緑花センター

灯台 (巻町角田岬)

緑花センターが

設立10周年を迎えました

ごあいさつ

理事長 渡辺 璋

財団法人新潟県都市緑花センターの設立10周年にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当センターは、新潟県における都市緑花を通じて、緑豊かで潤いのあるまちづくりに寄与することを目的に平成2年10月、県、県内全市町村及び民間団体・企業そして個人の方々多数のご賛同を賜り設立されました。

以来この間、都市緑花の普及啓発活動の展開とともに、鳥屋野潟公園や植物園を始めとする県立都市公園や沿道緑地の管理業務を実践しつつ、センター体制の充実に努めてまいりました。これもひとえに、県、市町村ご当局を始め、民間団体・企業等緑花に携わっておられる皆様方の暖かいバックアップの賜であり、改めて感謝とお礼を申し上げます。

申し上げるまでもなく20世紀は、経済の高度成長に伴う工業化社会の進展等により、自然環境の減少、ダイオキシン等による環境汚染の発生、地球温暖化の加速などを引き起こし、環境問題はまさに地球レベルでの重要テーマとなるとともに、21世紀においては、環境と調和した社会・経済活動や環境を保

全・創造する多様な取り組みの推進が強く求められるところであります。

新潟県では「にいがた「緑」の百年物語－木を植える県民運動－」が始動段階にあり、都市緑花の推進を目的とする当センターの果たす役割は重要であり、県民運動の一翼を積極的に担わなければならないと考えております。

10年を節目として新たな世紀に向けて、都市緑花に関する調査研究活動及び普及啓発活動を、従前にも増して積極的に展開するとともに、行政と民間団体等によるパートナーシップ型緑花活動を推進してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、今後とも都市緑花の中核組織としての当センター発展のため、一層のご指導とご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



より充実した緑花活動を目指して

今年度より、右記の役員及び職員を専任化し、新潟県の都市緑花を推進していく組織としての体制を強化し、緑花活動のより一層の充実を目指します。

〈役員〉



専務理事兼事務局長
大塚 正恒

〈職員〉



鳥屋野潟公園管理事務所
所長 相馬 仁



県立植物園
植物課長 倉重 祐二

財団設立10周年記念式典開催

さる平成12年12月1日、新潟県スポーツ公園レストハウスにて、財団設立10周年記念式典を開催しました。当日はご多忙の中、平山県知事代理磯辺副知事をはじめ、県関係者、財団役員、財団OB、花と緑のアドバイザー、社団法人新潟県公園緑地建設業協会会員、その他多くの皆様にご出席いただきました。

また、県立島見緑地芝生広場の整備にご協力いただいた地域住民の方をお招きし、記念品を贈呈しました。(この活動は第16回都市公園コンクールにおいてパートナーシップ型公園管理として「建設省都市局長賞」を受賞しました)

そのほか、財団設立10周年を記念して策定したシンボルマークのお披露目、続いて記念講演会が行われました。

●講演テーマ

「緑との関わりの中で思うこと」

●講師

赤井 昭 (しょう) さん

(平成3年まで県立ガンセンター新潟病院皮膚科部長。現在、新潟県教育委員及びにいがた緑の百年物語緑化推進委員会理事)



シンボルマーク決定!

シンボルマークの製作にあたっては、当センター職員からデザインを募集し、優秀作品をデザイン専門家から微調整していただきました。



財団法人新潟県都市緑花センターのキャッチフレーズである「まちに緑と花を」の「緑」と「花」をそれぞれ「GREEN」の「G」と「FLOWER」の「f」で表しました。

さらに、県の木「ユキツバキ」の花を挿入し、新潟県の都市緑花の推進及び普及啓発の願いを込めました。

今後、このシンボルマークを広く使用し、新潟県の都市緑花のアピールに努めていきます。

受託事業

公園・緑地及び公共緑地の維持管理を受託しています。

- ・ 県立鳥屋野潟公園
(鍾木地区・女池地区・新潟県スポーツ公園)
- ・ 県立紫雲寺記念公園
- ・ 県立島見緑地
- ・ 県立植物園
- ・ 新潟ふるさと村
- ・ 緑地景観保全事業
(街路樹管理)
- ・ 新潟港湾緑地



県立鳥屋野潟公園 (新潟県立スポーツ公園)



県立植物園

基金事業

都市化が進み緑が減少する中で、緑豊かで快適なまちづくりを進めるために各種事業を行っています。

- ・ 各種助成制度(花と緑のアドバイザー制度ほか。詳細はP9)
- ・ 緑の相談所の運営
(県立植物園に設置)
- ・ 広報活動
(情報誌「GREEN Sketch」、ホームページ「緑の宝箱」ほか)



花と緑のアドバイザー派遣制度

自主事業

県立都市公園の便民施設の運営を行っています。

- ・ レストラン「ラ・ピアンタ」
(県立鳥屋野潟公園内)
- ・ 休憩施設「まつば」
(県立紫雲寺記念公園)
- ・ カフェテリア「ロゼーティー」
(県立植物園内)

緑花センターの 主な活動

—10周年を迎えた現在の
活動内容をご紹介します。—

このほかにも・・・

〈自然にやさしい緑のリサイクルを目指して〉

県立公園の維持管理作業で生じる植物廃材を公園内で堆肥・チップ・炭などにリサイクルし再利用しています。

〈より多くの方に公園を利用いただくために〉

花と緑に関するさまざまなイベントを開催しています。

〈愛着もてる魅力ある公園に〉

地域住民やボランティアによる公園管理への参加を推進しています。

- 県立島見緑地 住民参加による芝生広場づくり
(社)日本公園緑地協会主催第16回都市公園コンクール建設省都市局長賞受賞 P7にも掲載)



県立島見緑地
住民参加による芝生広場づくり



出席者

- 新美 芳二さん
(財)新潟県都市緑花センター評議員)
- 本間 英樹さん
(社)にいがた緑の百年物語緑化推進委員会会員)
- 山本 一成さん
(社)新潟県公園緑地建設業協会会長)
- 松橋 昭彦さん
(新潟県土木部都市整備局長)
- 渡辺 暉
(財)新潟県都市緑花センター理事長)

平成12年10月30日に財団設立10周年を記念して座談会が行われました。

その中で出していたご意見を一部ご紹介します。
(以下敬称略)

10周年記念座談会 「今後の緑花センター事業について」

新美 小中学校における活動を重視してほしい。
ただ木を植えるだけでなく、どうして植えるのかを子供たちに聞かせることによって少しずつ緑花の輪が広がっていくのでは。

本間 県内各地の学校に校庭の開花などの情報提供をお願いしてみたい。ぜひ子供たちに情報の発信基地になってもらいたい。
新潟の風景、例えば、失われつつあるハサ木を復元してゆく運動はできないか。

山本 公園をもっと利用していただくために、国営公園のように県立公園でもっとイベントを企画してほしい。
県民に植物にはメンテナンスが必要不可欠であるが、メンテナンスの財源についての議論をしてほしい。

松橋 県でも声が上がっているが、計画段階から地域の皆さんに関わっていただくことで、メンテナンスにおいてもボランティア意識が芽生えるのではないかと。

渡辺 今後は、「緑」の百年物語運動の趣旨も踏まえて、皆様からご意見のあった学校教育との連携強化や花と緑のアドバイザーの活躍の場づくり、情報発信の充実などを積極的に図っていきたい。

食欲増進・健康回復に役立つおいしい梅

梅は中国原産の樹木で、古くに日本へ渡ってきました。庭園等の樹木材料としてよく使われています。

園芸品種も数多くあり、観賞用として庭園や公園・梅林などに植えられている種類は花梅、食用の果実をつける種類は実梅として区別されています。

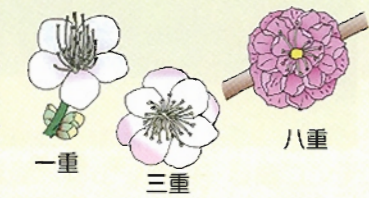
梅は果物のように生ではなく、加工されて食べられることがほとんどです。加工された梅には様々な効果があるといわれ、中でも梅干は昔から三毒（食べる毒、血の毒、水の毒）を断つといわれており健康食のひとつとして注目されています。



冬を彩る可憐な花

花が少なく、もの寂しくなる冬。その冬の寒さに負けず、梅は清楚な花を咲かせてくれます。

白や紅の濃淡色や絞り、また花びらも一重、三重、八重等いろいろな種類の花で楽しませてくれます。



梅は大きく野梅系、豊後系、紅梅系に分類されますが、その中で花色に関係なく、枝を切つて中心部が赤いものを紅梅系といいます。

様々な加工される梅

梅干

梅干はほとんどの家庭に常備されている食料の一つです。昔から食欲がない時、梅雨時や夏のお弁当等に使われますね。

これは梅干には隠された効果があると考えられているからです。

梅干自体には栄養はほとんどありませんが、梅干の中にあるクエン酸という物質が、殺菌作用や菌



の繁殖を抑制する働きをもっているのです。また疲れた時や食欲のない時に梅干を食べるのは、梅干が胃腸の働きを活発にしてくれるからです。

梅肉エキス

梅のエキスをたっぷり含んでいます。梅肉エキスは、まだ硬くて青い梅を、金おろしでおろして煮詰められたものです。このエキスには梅干より多くのクエン酸が含まれています。おなかをこわしたときに少量を食べると効くと言われています。

梅ジャム

ジャムといえばパンに塗ったりクラッカーにのせて食べてもおいしいです。これには柔らかくなりかけの梅や形の悪い梅等、梅干で使われなかったものも利用できます。

梅酒

梅・砂糖・焼酎で作られていますから、お好みで甘みを強くも、お酒を強くもできます。焼酎めきのウメシユースにするとお子さんでもおいしく飲むことができます。梅酒の梅も甘くておいしいですね。漬ける時に竹ぐし等で穴をあける事がふつくとし、くらとした梅にできあがるポイントです。



梅の手入れ

昔から「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」と言いますが、梅は日が当たらないと花芽がつかなくなり、そのため1月中旬に混み過ぎている枝を間引いたり（結果枝は15cm間隔程度にする）、太くても他の枝を邪魔している枝は付け根から切り取ります。実は20から30cmの短い枝によつて、1mになるような徒長枝にはつかないの、日当たりを悪くするような徒長枝や弱すぎる枝は付け根から間引きます。これは9月頃に行つとよいでしょう。

